

当社のDOS

ディポジット オーナーシステムとは？



Research&development

株式会社 菅野実務研究所

新築した戸建住宅やマンションなどを賃借する場合、これまで賃料はすべてオーナーの収入になっていました。

住人は居住権を確保できるのみで何年あるいは何十年賃借していても何の権利も残らないのがあたり前のことでした。

このシステムによれば、数年後に居住中の賃貸物件を購入したいと判断した場合、物件価格から居住期間に応じ積み立てたと同様のディポジット金額を差し引いた金額で物件購入できることを可能にするため当社が独自に考案した「ビジネスモデル特許」出願中の新しい住宅取得の制度です。

一例として、新築 3,000 万円の土地付戸建住宅の場合、賃料は月額 100,000 円ですがこのシステムを採用することにより、(ディポジット料率 0.3 とした場合)

三割の月 30,000 円がオーナーとの間においてディポジットとして積み立てたことになり、例えば 3 年後にこの物件を購入したいと思った場合は、 $30,000 \text{ 円} \times 36 \text{ ヶ月} = 1,080,000 \text{ 円}$ を差し引いた 28,920,000 円で住み慣れた住宅を手に入れることができます。

5 年後の場合は $30,000 \text{ 円} \times 60 \text{ ヶ月} = 1,800,000 \text{ 円}$ を差し引いた 28,200,000 円で購入できるという仕組みです。

実際住んでみて、納得の行くところで購入でき、支払い済みの賃料が決して無駄にならない消費者の視点に叶った非常にお得な制度です。

このシステムのオプションは、本物件を将来購入するという約束するものではありません、購入できるというプレミアムが付加されるだけで、消費者はなんら拘束を受けるものではありません。

[トップページへ戻る](#)

Dhiposit Owner System